

学校関係者評価委員会報告

学校法人菅原学園 専門学校デジタルアーツ仙台では、本校の学校関係者評価委員会規定に基づき委員会を実施いたしました。以下に議事進行についてその内容をご報告いたします。

今後は、各委員からの貴重な意見や提案を真摯に受け止め、学校運営の改善および教育の質の向上に努力してまいります所存です。

日時：平成29年10月29日(木) 14:00～15:30

会場：専門学校デジタルアーツ仙台 1階 小会議室

出席者：12名

1. 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員

氏名	所属等
委員長 渡邊 孝博	株式会社オンサイト 取締役 エンタテインメント事業部 部長
副委員長 小野寺 千代志	有限会社ビックフラットエンタープライズ ライブハウススペースゼロ店長
岸浪 行雄	株式会社東北共立 代表取締役
金塚 弘	株式会社メディアPR 代表取締役
落合 泰朗	本町新光町内会 会長
金子 篤	株式会社ピコラ 代表取締役
高橋 清博	公益社団法人 定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会理事
菊地 新生	NPO 法人 とっておきの音楽祭 事務局長
餅 祐一	卒業生 (俳優、タレント業)

事務局

氏名	
梅川 明寛	専門学校デジタルアーツ仙台 副校長
櫻井 潤	専門学校デジタルアーツ仙台 教頭
大島 正義	専門学校デジタルアーツ仙台 教務部長

2. 委員会次第

- | | |
|----------------|-------|
| ・開会 | 梅川副校長 |
| ・事務局紹介 | |
| ・学校関係者委員紹介 | |
| ・学校関係者評価に関わる説明 | 櫻井教頭 |
| ・自己点検報告 | 渡辺委員長 |
| ・討議、意見交換 | 各委員 |
| ・閉会 | 櫻井教頭 |

3. 討議・意見交換

(1) 教育理念・目標

社会のニーズを踏まえた学校の将来構想をどのように考えているかの意見が出た。最先端の技術を取り入れた授業も必要であるとの意見があり、そのための実習機材が適切であるかどうか見直しが必要との事である。一方、業界では、基礎的な部分をしっかりと習得して卒業してほしいとの意見も出た。

(2) 学校運営

職業実践専門課程の運用に伴い規定集により各種規定の整備している。

SNSを活用して教育活動に対する情報公開を実施している。

また、学校業務の情報システム化に対しては、IT委員会を設け情報の共有化などを図っていることに対して、昨年に比べ改善されているとの意見が出た。

(3) 教育活動

教育の質の向上に関して、「考える力」「創造する力」などを養える教育をしてほしいとの意見が出た。事例として、職業実践専門課程における企業連携イベントで会場にトラブルがあったが、学生達が自ら考えて調整し運営がうまくできたことに対して、「考える力」が現場実習で養われているとの意見があった。

今後は、現場実習を終えたあとに、自己評価レポートをつくり、何が必要なのかを考えて次回の現場に備えるようにすればさらによくなるのではないかという意見が出た。

(4) 学習成果

就職率の向上に関しては、就職決定率が昨年より高くなったこと。及び科に関連する業界就職率も昨年より高くなったことに対して高評価を頂いた。

退学率の低減に関しては、各クラス担任が面談を実施、個々学生の諸問題に臨機応変に対処している。特に、出席不良者に対しては、各クラス担任が毎週、学生

面談報告書をキャリアサポートセンターに報告し、必要に応じてキャリアサポートセンターからアドバイスを頂いている。また、担任以外にも、スクールカウンセラー2名によるカウンセリングを実施し、学生の相談に応じている。今後とも退学率の減少を目指し学生個人に寄り添った丁寧な指導をしていく。

(5) 学生支援

音楽イベント、学園祭、作品展、公演などを支援する体制は問題ないとの意見が出た。今後とも学生が満足できる学生生活を送れるように各項目（学習、就職、生活、学費）についての支援を検討していく。

また、学生への健康管理に対する意見として、今後健康指導の対策を設けるべきとの意見が出た。今後、健康指導に関しては、具体的な対策を検討して行く。

(6) 教育環境

昨年に防災時の準備体制が弱いのではないかとの意見があった。

今後、学校が避難所として対応することも十分考えられるので、本町商店街と協力し街ぐるみで災害対策を考えて行きたい。

(7) 学生の受け入れ募集

概ね、募集は順調である。

企画広報室を中心に学校外の広報活動として進路ガイダンス、模擬授業、会場ガイダンスなどを実施している。学校内の広報活動としてはオープンキャンパス、学校見学会を行い適正に学生募集活動を行っている。

(8) 財務

意見・異議等なし。

(9) 法令等の遵守

意見・異議等なし。

(10) 社会貢献・地域貢献

学校としては社会貢献できていると自己評価している

昨年に引き続き、職業実践専門課程の実施に伴い地域と連携したイベント（とっておきの音楽祭・定禅寺ストリートジャズフェスティバル・仙台ゴスペル・フェスティバル・本町夏祭りなど）に数多く参加した。各委員からも今後とも地域に貢献したイベントの参加を期待しているとの意見が出た。

学校としても、さらなる充実を目指し地域貢献を活発に行っていききたい。

(11) 国際交流

意見・異議等なし。